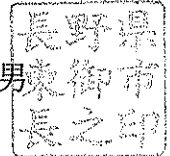


19 建第 27 号  
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省  
道路局長 殿

東御市長 土屋 哲男



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

【重点化を進める上で特に優先度の高い施策】

1. 少子高齢化社会を向かえ、安心安全な道路整備が必要であり都市、農村部を問わず、歩道の整備を優先すべきと考えます。特に国道における歩道未設置区間の解消を要望します。
2. 渋滞は、経済活動や環境面からも大きなマイナス要因であり、渋滞常習区間解消のためバイパス化の促進を図っていただきたい。

【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

1. 事業を進める上では財源の確保が重要であり、道路整備特定財源の確保を堅持願いたい。

【その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見】

意見特に無し。